

みつぎ便り

144号
9月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成30年9月1日 https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report/

エノコログサ

エノコログサと言われてもピンとききませんね。でも、全国の畑、道端、空き地等のどこにでも生えているイネ科の一年草で、写真を見れば別名「ネコジャラシ」と分かります。

エノコロとはいぬころのことであり、穂状の花の形「花序（かじよ）」を子犬のしっぽに例えたのが名前の由来のようで、漢字で表すと狗尾草となります。猫をじゃらすときに使うのでネコジャラシとは言っても、名前は猫とは関係ないようです。

エノコログサの仲間には「キンエノコロ」「コツブキンエノコロ」「アキノエノコログサ」などがあります。キンエノコロは穂の毛が黄金色に見えます。エノコログサは都市部に多く花序はあまり垂れませんが、アキノエノコログサは農村部に多く見られ、花序は太めだがうなだれるものが多いという特徴があります。

エノコログサは、幼児や子供が興味を示す野草の一種とも言われているようですので、

子供にかえった気持ちでエノコログサで遊んでみてはいかがでしょうか。
(利)



サンゴジュ

珊瑚樹は公園の西側の道路の郵便ポストのすぐ上にあり、樹名板が付いているので気付いた人がいるかも知れません。果実が赤く美しいので珊瑚に例えられ名付けられました。主に東南アジアに分布し、日本では関西以西に自生し海岸林に多く使われ常緑小高木



(しょうこうぼく)で高さ三〜九呎にもなります。葉は厚く光沢があり常緑です。花は六月頃に咲き白色で長さ六センチの筒形をなし、果実は七〜程度の楕円体で、秋に赤く熟した後には黒変します。潮害や大気汚染に強く防火、防塵、防風の目的で通常は生垣とされています。見次公園の珊瑚樹の果実は二呎より上方にありますので注意深く探してみてください。果実は珊瑚のようで、ちょうど今美しい盛りですよ。まだ残暑が残り、公園の緑は一段と濃く、蝉の大合唱も止みません。でも早朝の公園は清明(せいめい)で涼しいので、皆様も一足早く秋を感じてみませんか。
(重)